AIRTECH Clean Air Innovation

エアーテック・ニュース

2022.6.30 Vol.96

安全キャビネット BHC-1310ⅡA2【新JIS型式認定】

当社のバイオハザード対策用キャビネット（通称：安全キャビネット）の最新モデルが、新JIS規格の型式認定を取得しました。本モデルは新JIS規格による認定としては第1号機となります。

開発にあたり操作性及びデザインの向上を重視し、カラータッチパネル式表示の採用により、視覚的に安全な運転状態が確認できるようになりました。

PCR検査装置取扱い以外にも、再生医療分野及び薬剤の調整等様々な分野でご利用ください。

操作パネル（カラータッチパネル表示付）

目　次

表紙	目次、安全キャビネット	P01
巻頭語	プライム市場への上場と当社状況	P02
会社情報	第49回定時株主総会報告	P03
	新取締役挨拶	P03
	新監査等委員挨拶	P04
	東京証券取引所プライム市場上場	P04
	第49期決算報告と第50期会社方針	P04
研究・開発情報	新製品紹介	P05
設計本部・研究所情報	第39回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	P06
	研究所の再設置	P06
工場情報	赤城スマートファクトリー着工	P07
	工場　桜だより	P08
サービスセンター情報	東北サービスセンター開設とサービス部の近況	P09
営業情報	東北営業所移転	P09
	西日本営業情報	P10
営業企画情報	当社の広告及びリーフレット紹介	P10
海外提携会社情報	中国(SAT)、台湾(ATS)	P11
管理本部情報	映画鑑賞「ドライブ・マイ・カー」	P12
	ウクライナ避難民への寄付金	P12
	次世代へのメッセージ【第3回】	P12
裏表紙	「2022年入社式」「加須工場改修」	P13
	編集後記	P13

巻頭語

プライム市場への上場と当社状況

代表取締役社長　平沢　真也

当社は本年４月に東京証券取引所の市場再編により、東証１部指定からプライム市場へ移行いたしました。日頃よりご支援ご協力頂いているお客様、お取引様、社員の皆様そして株主の皆様には紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。今回の再編により、従来とは異なり毎年上場維持基準を充たしていく必要があります。

基準適合に向け、「中期経営計画（2022年度～2026年度）」に基づき、他社との差別化、グローバル化、新市場への進出等を着実に進め、クリーンエアーシステムにおいて国内で圧倒的な業界第１位となると共に、フィルター事業を拡大し、収益性を維持しつつ企業規模の拡大を図ります。また、情報開示の充実、ESG・SDGs関連施策の推進をさらに加速させ、環境側面・社会側面の双方から持続可能な社会に貢献しつつ、企業価値向上に継続的に取り組むことを基本方針としております。方針の徹底と促進のため、部署を横断する６種類のプロジェクトを発足させ各々の課題に取り組んでおります。

当社の事業環境は、半導体、EV/FCV自動車関連を始めとする電子部品・材料の設備投資が活発に行われ、引合いは旺盛です。バイオ分野では感染症対策製品は一服したものの研究施設、製薬工業、再生医療関連の設備投資は堅調となっており、受注残高は過去最高レベルとなっています。一方で昨年初めより部品調達状況が悪化し、製品により長期の製作期間が必要となっており本年末まで継続する見通しです。原材料・部品のコストアップも昨年より上昇の一途を辿っております。ロシアによるウクライナ侵攻により更に加速しており、やむを得ず本年６月に標準製品の価格改定を行う運びとなりました。

この様な中、供給停止を回避すべく当社の製品開発力により代替部品を採用した製品開発を迅速に推進いたします。また、取引先との密な打合せを行う事で部品調達維持に努め製品の生産・供給に滞りが発生しないように社員一丸となって対応してまいります。事業環境は更なる変化が予想され、それに備えた準備をより早く行う事により本年の業績目標、中期計画の達成を目指していく所存です。

足摺岬

宇和島城

―会　社　情　報―

第49回定時株主総会報告

総務部　西野　浩司

2022年３月29日(火)午前10時よりアートホテル日暮里ラングウッドにて第49回定時株主総会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染が終息しない中、会場内の感染防止策として、マスク着用・アルコール消毒液の設置に加えて当社クリーンパーティション７台を会場内及び受付に設置した上での実施となりました。昨年に続いて一般株主様の参加は少数ではありましたが、会場では当社製品を紹介する画像スライドを総会開始前に投影する等、当社のPRにも努めました。

決議事項についてはいずれも承認をいただき、10時48分に閉会いたしました。

１．出席者

一般株主　12名、役員　8名

２．決議事項

第１号議案　剰余金の処分の件

期末配当が１株金50円にて承認されました。

第２号議案　定款一部変更の件

当社の事業内容への「建築物の設計及び工事監理」の追加、株主総会参考書類等の電子提供制度創設に関する法改正に合わせた変更が承認されました。

第３号議案　取締役（監査等委員である取締役を除く。）５名選任の件

平沢真也、渡辺直樹、高木顕二、東海林泰三、森嶋正道が選任されました。

第４号議案　監査等委員である取締役３名選任の件

磯部好秀、山﨑淳司、前川統一郎が選任されました。

第５号議案　補欠の監査等委員である取締役１名選任の件

髙橋貢子氏が選任されました。

株主総会会場

新取締役挨拶

東海林　泰三

このたび、取締役生産統括本部長、兼草加工場長を拝命しました東海林泰三です。この様な大役にとても身の引き締まる思いでいます。入社以来、約26年間設計部に所属し、多くの貴重な経験を積ませていただきました。その間、諸先輩方ならびに社員の皆様方には、多くのご指導、ご支援をいただいたことに感謝を申し上げます。今後も引続き皆様方のご協力をいただきながら、そして設計部での経験も活かして、会社のより一層の発展に向かい取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大、ならびに半導体不足、様々な材料・部品不足等当社も大きな影響を受けています。コロナ禍では感染症対策製品を多数生産・納入いたしました。一方、購入部品の不足・長納期化・価格上昇等、その影響は現在も継続しています。このような様々な変化に追従するため、全工場がさらに緊密に連携し、また社内各部署と情報共有を行い、ご協力をいただきながら対応して行きます。

工場では安全を第一とし、更に製品品質の向上が重要な事項です。それを継続して実現するために、各工場内のコミュニケーションを活発化し、改善・効率化等柔軟な対応を行っていきます。また、引続き協力会社様にもお力添えをいただきながら、更なる品質向上を目指してまいります。

今後も感謝の気持ちを忘れず、皆様のお役に立てるように誠心誠意努力してまいります。引続き、宜しくお願い申し上げます。

草加工場

新監査等委員挨拶

前川　統一郎

社外取締役(監査等委員)に選任されました、前川統一郎です。よろしくお願いします。

私は、30歳代まではエンジニアとして国内外の地下水開発プロジェクトに取り組んできました。40代には、当時はまだマイナーな環境問題であった土壌汚染対策を手掛ける社内ベンチャーを立ち上げ、また、日本の土壌汚染関連産業の発展にも貢献してきました。50代には、太陽光発電事業の有望性に着目し、ドイツの専門企業を買収するとともに、日本では電力会社以外では初の商業用発電所の開発に取り組みました。そして、60代からはESG経営のコンサルタントとして活動を続けています。これらの実務と経営者としての経験を、当社の持続的発展に活かしたいと思います。

言うまでもなく、企業の存在意義は社会に役立つ製品やサービスを提供することです。当社が社会に価値を提供し続けるとともに、自社も社会からさらに高く評価され、社員がより幸せを感じる会社となることに、貢献したいと考えます。

東京証券取引所プライム市場上場

管理本部

東京証券取引所(東証)による３つの新市場区分再編を受け、昨年12月16日に「プライム市場」を選択しました。上場維持基準のうち、「流通株式時価総額100億円以上」の充足に向け、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、2022年４月４日に、東証「プライム市場」(証券コード6291)へ上場いたしました。

プライム市場上場企業としての責任を果たし、株主・投資家・従業員、その他全てのステークホルダーの皆様にご支援をいただけるよう努力してまいります。

プライム市場上場記念（東証より）

2021年度(第49期)決算報告と2022年度(第50期)会社方針

管理本部

１．2021年度決算

昨年は全部署にてコロナ禍への対応を試行錯誤しつつ、感染症対策製品の増産、据付業務に取り組みました。売上高は142億円と最高値となりました。厚生労働省の補助金を背景として、クリーンパーティション等の感染症対策製品の標準品を販売できたことにより、営業利益、経常利益共に大幅に増加いたしました。さらに、研究開発も積極的に行い、「バイオクリーンベンチ」「全排気安全キャビネットのシリーズ化」、「パッケージ型排気ユニット」、「抗菌クリーンパーティションフルパッケージモデル」「面会用ブース・あえるーむ」等感染症対策機器を主とした開発に取り組みました。

多くの困難の中、お世話になりました取引先の皆様に心より御礼を申し上げます。

単位：百万円

決算年度	2020年度	2021年度
売上高	12,487	14,289
営業利益	1,414	1,991
経常利益	1,562	2,195
配当金	33円／株(注)	50円／株

(注)本社新社屋及び越谷新工場竣工を記念し、記念配当８円／株を含みます。

２．2022年度方針

本年の方針は下記のとおりですので、一致団結して達成していきましょう。キャッチフレーズは、「HEPA特徴付けと新市場への挑戦」です。

1)プライム市場の上場維持基準を達成する。
2）研究開発は、SDGs関連（感染症、省エネルギー、食品分野関連で22テーマ)に注力する。
3）高性能フィルターの特徴付けを行い、赤城スマートファクトリーの生産と拡販に取り組む。
4）四工場の連携を密とし、部品・生産管理の高度化を図り、需要増加に追従する。
5)エアーシャワー、クリーンブース、安全キャビネットのシェアを拡大する。
6)売上げ拡大が見込まれるHEPAフィルター、クリーンパーティション、安全キャビネットの販売及び定期検査等の営業PRを徹底して行う。
7）同業他社、異業種企業とのM＆Aを実施し、既存事業拡大及び新規事業参入を図る。

新製品紹介

設計２部　豊田　貴大

パッケージ式排気ユニット
型式～ PEU02-20

診察室、病室等に設置する事で既存の部屋をクリーン化し、陰圧室として活用できます。
感染予防として、抗菌塗装としています。

【特徴】

・給気、排気共に高性能 HEPA フィルターにてろ過することにより、塵埃やウイルスを捕集します。
・室内をクリーン化し、陰圧室にする事が可能です。
・表示灯にて、フィルターの交換時間をお知らせします。
・排気チャンバーボックスの取付方向は左右の選択が可能です。
・旧モデルより本体が 80mm 薄くなり、背面角部のカットで室内コーナーにも設置しやすくなりました。

パッケージ式クリーンユニット
型式～ PAU- **DC シリーズ

設置するだけで部屋内部をクリーン化できます。室内循環型の他にもダクト接続が可能です。DC モーターを使用し、省エネ性能に特化しています。感染症予防として、全機種抗菌塗装としています。

【特徴】

・風量は 20（20DC）、40（40DC）、75（80DC）m^3/min の 3 機種とし、シリーズ化を行いました。
・DC ブラシレスモーターを採用し、AC100V、AC200V 両方の受電が可能です。標準機種は AC100V タイプとし電源コードを準備しました。
・省エネ性能が向上し、旧タイプと比べ最大で 58％の消費電力を低減しました。1 年間連続運転で約 150000 円の電気代が節約＊1 になります。
※1：機種は 80DC で 1 k W h あたり 17 円にて算出しました。
・運転ランプと共用の表示灯にて、フィルターの交換時間をお知らせします。通常運転時～点灯。フィルター寿命時～低速点滅。

ダクトレス ヒュームフード
型式～ AFH-903

作業者の保護を目的とした、小型で卓上タイプのヒュームフードです。
低コストで実験環境の清浄化が可能です。

【特徴】

・微粒子を除去するために HEPA フィルターが標準装備されており、ガス除去フィルターの目詰まりを低減します。
・ガス除去フィルターはお客様で容易に交換できる構造としました。
・庫内面の吸込み口は上部、下部背面の両方にあり、効率よくガスを吸引して排気します。
・耐薬品性に優れているトレスパ作業台を採用しました。
・ダクト工事が不要のため、室内のあらゆる場所に設置可能です。

― 設計本部・研究所情報 ―

第39回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会 参加報告

研究所　真家　未妃

４月12、13日に早稲田大学国際会議場にて第39回「空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会」が開催されました。本年は44件の報告があり、当社からは設計部の福田と私の2名が研究発表を、また設計部の片岡がメーカープレゼンテーションを行いました。

福田からは「紫外線強度と照射角度による捕虫への影響と効果」として、電気捕虫器のフィールド試験において、LED方式が蛍光灯方式より捕集性能が約２倍高いことを発表しました。

私は昨年に引き続き「空気清浄機にて形成したプッシュプル気流の有効性（その２）」とし、介護施設における面会時の感染リスク低減効果としてのプッシュプル気流の有効性について、気流シミュレーションと生菌を用いた実験結果を発表しました。

長引くコロナ禍の影響により、例年より発表件数、参加者ともに少ない研究大会となりましたが、新しい刺激を受けつつ研究開発を継続していくことの重要性を改めて感じた大会となりました。

本大会で発表するにあたり、ご指導、ご協力いただきました皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

研究所の再設置

研究所 所長　岡本　守

研究所が設計本部内の研究開発部となり早や4年が経過しましたが、本年4月より研究所を再設置する事となりました。当社の研究所の使命はスピードを重視した研究・開発により、特徴有る製品開発及び製品開発のヒントとなる基礎的な研究を行う事です。

今後、研究所が独立して発展するためには、成果を出し続けなければなりません。重責では有りますが、やり甲斐をもって突き進んでまいります。

この度、34年間の設計勤務の後、３年間の生産統括本部での勤務経験を経て、研究所所長として研究開発現場に戻りました。これまでの経験を踏まえ、３名の優秀なメンバーと共に会社の成長に貢献できる製品開発、研究を行ってまいります。

研究所の方針を紹介いたします。

研究所方針

① 省エネ化へのさらなる取組み
② 新技術開発と特許出願
③ 装置不良の原因究明
④ 設計本部と連携した新製品開発及び既存製品の改良
⑤ 論文発表及び各規格の確認調査
⑥ 海外を含む業界・製品の動向調査
⑦ 生産設備の開発支援

論文発表風景

研究所メンバー

― 工場情報 ―

赤城スマートファクトリー着工

フィルター技術部　篠原　秀之

赤城スマートファクトリーは、フィルター工場として群馬県桐生市新里町に建設を開始しました。

建設計画概要

・設計/施工　　関東建設工業株式会社
・建築面積　　1598.9㎡
・延べ面積　　3090.6㎡
・工期　　2022年１月上旬～2022年７月下旬（予定）

建屋は２階建ての工場です。１階はHEPA・ULPA生産ラインと事務所、２階はPTFE製造ライン、部品倉庫、完成品倉庫、応接室、食堂です。また、屋上に340枚のソーラーパネルを設置し、太陽光発電を行います。蓄電池を設置し、省エネ工場を目指します。

現在（５月初旬）は建屋の鉄骨・床打設作業が終わり、外壁・外構の作業中です。７月末の竣工に向け準備を進めています。

生産設備は順次群馬（伊勢崎）工場から移設し、生産を止めることなくラインの立ち上げを行います。

生産増加及び納期短縮に向け、在庫品（完成品・部品）の種類及び適正数量を見直し、効率の良い管理方法を採用します。さらに、物品の流れを考慮したシンプルなレイアウトとし、生産効率良く整理整頓が行き届いた「スマートできれいな工場」を目指します。

赤城スマートファクトリー完成予想図

建設状況（５月初旬）

屋上部分（５月下旬）

正面養生（５月下旬）

工場 桜だより

生産統括本部

本年も各工場近辺の桜が満開となり、春の到来を告げましたが、現在は新緑の季節を迎えています。草加工場では４月～５月に本年度新入社員の工場実習を行い、当社製品について学んでいます。８月には赤城スマートファクトリーが完成し稼働いたします。今後は草加、越谷、加須、伊勢崎（現群馬）、赤城の５工場体制となりますので、各工場間の連携を行ない効率よく生産を進めてまいります。お近くにお越しの際には是非各工場へお立ち寄りください。

草加工場　（工場近くの用水路4/1撮影）　4月～5月まで新人の工場実習を実施しました

越谷工場　（工場近くの野鳥の森公園4/5撮影）　風が吹くたびに花ビラが散ってきました。

加須工場　3/31に満開になりました。（加須工場内10本）

群馬（伊勢崎）工場　工場裏の菖蒲園は4/1には満開。　4/4花散らしの雨。

4/4　雨

4/5 曇のち晴れ

― サービスセンター情報 ―

東北サービスセンター開設とサービス部の近況

サービス部　小川　智道

【全国サービス体制の確立】

本年４月より新しいサービスメンバーが４名入社し、草加、関西、九州に次ぐ４拠点目の東北サービスセンターが開設しました。

東北サービスセンターには草加SCで約３年間研修を終えた石井君が着任し、早速現場を忙しく駆け回っております。

＜石井君の意気込み＞

「各作業、管理が疎かにならないよう、より一層気を引き締めて東北サービスセンターを立ち上げます。」

現状１名ですが、東北営業所の皆様を厚く、熱く草加からもバックアップしていきます。

【海外の工事案件】

コロナ禍により２年間滞っていたベトナムでのRABS（クリーンブース）工事が再開しました。１月より約４か月間という長期間、チームエアーテック（サービス部＋設計部＋技術部＋ATV）で工事を遂行しました。本工事に携わったメンバーの皆様、計画から工事まで長期間本当にお疲れ様でした。

また、来年に向けて海外（欧米、アジア、アフリカ）での作業が多く予定されております。海外業務の経験は非常に有意義なことで、自分を磨くチャンスです。皆様、サービスメンバーと海外で共に働き、多用な経験をしましょう。

【おわりに】

今後も代理店の方や営業の一助となるよう、全サービスセンター員が一丸となり努めてまいります。

東北サービスセンター

ベトナム工事メンバー（ATV にて）
左から關さん、フィさん（ATV）、牧さん、橋本さん

― 営業情報 ―

東北営業所移転

東北営業所　伊藤　俊博

東北営業所は業務拡張のために営業所を移転いたしました。また、同事務所内に東北サービスセンターも開設いたしました。移転に際し、社内関係部署の方々には、ご尽力とご協力いただき、感謝申し上げます。これを機に所員及び東北サービスセンター所員一同心機一転、さらに一層精進し、皆様のご期待にこたえてまいる所存です。今後ともご支援ご指導をお願いいたします。

新事務所は旧事務所より2倍のスペースになり、新たに商談室・会議室・サービス器材室も確保しましたので、業務に邁進することが出来ます。駐車場は8台分ありますので、お客様の駐車場も十分可能です。交通は仙台市営地下鉄東西線の荒井駅より徒歩６分程です。高速道路も近く、仙台東ＩＣまで５分程で行くことができます。皆様も近くにお出での際には、是非東北営業所に立ち寄り、新事務所をご覧いただきたいと思います。皆様のご訪問をお待ち申し上げます。

移転日　2022年4月18日（月）
新住所　〒984-0032　宮城県仙台市若林区
　　荒井七丁目12番の５
電　話　０２２－３５２－４５０４
ＦＡＸ　０２２－３５２－４５０７
交　通　仙台市営地下鉄東西線『荒井駅』より徒歩6分

東北営業所　新事務所

東北営業所メンバー

西日本営業情報
ー九州シリコンアイランドの復活ー

西日本営業本部　**磯浜　幸成**

1960年代、三菱電機の熊本進出を皮切りに、豊富な水と人材を求めて九州各地に半導体工場が集積しました。しかし、2000年代には主要企業の半導体事業撤退により勢いを失いました。

台湾積体電路製造（TSMC）は熊本進出を昨年発表しました。新工場に約1兆1000億円を投じて2024年の稼働を目指しています。また、SONY長崎は半導体画像センサーの新工場に7000億円を投資、SUMCO、京セラも新工場建設を予定しています。日本政府も半導体工場の新築等に巨額の公的支援を打ち出しており、九州シリコンアイランドの復活が期待されます。

当社も昨年、九州にサービスセンターを開設、営業人員の採用等同地域に力を入れています。九州の半導体ユーザーには多数納入実績ありますが、更なる開拓を目指して拡販に取り組んでいく所存です。引続き、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

― 営業企画情報 ―

当社の広告及びリーフレット紹介

営業企画課　**幸王　孝文**

設計部、デザイン室の全面協力により、新製品やメンテナンスに関するリーフレットが作成され営業PRに貢献しております。また、厚労省による補助金対象の感染症対策製品を主に各種媒体へ広告を掲載いたしました。今後も各部署と連携し、販売促進の充実化を進めてまいります。以下にその一部を御紹介いたします。

日本経済新聞、日経産業新聞

ダクトレス ヒュームフード リーフレット

コンパクトエアーシャワー リーフレット

フィルター交換、メンテナンスのご案内

― 海外提携会社情報 ―

蘇州エアーテック(SAT)と台湾エアーテック(ATS)から近況について連絡をいただきましたので報告いたします。

企画室　山本　宏

中国：蘇州安泰空気技術有限公司(略称：SAT)

2021年度の売上高は前年比25%増、純利益は同５%増となり過去最高となりました。感染症対策製品の販売増加や標準品の量産による生産効率向上、地方サービス強化によるサービス費用低減等が寄与しました。

クリーンベンチと安全キャビネットは過去最高の生産量となり、国内販売量はトップを維持できました。電子分野とバイオ分野の比率は３：７、標準品と特殊品の比率は８：２となりました。

新製品として振動防止機能を向上させたクリーンベンチを開発し、ドイツの光学レンズ製造メーカの工程環境要求を満足することができました。

新工場（新陽大道工場）では、製品組立区域を計画通り完成させ、塗装区域を2022年第２四半期に完成させる予定です。

2022年度は売上高は昨年計画比10.4%増、純利益は同10.2%増を計画しています。新製品として、新国家規格対応05型安全キャビネット、省エネクリーンベンチ、卓上型安全キャビネット等を開発する予定です。

国の経済発展戦略に沿って開拓創造の精神で積極的に競争に参加し、社員一丸となって良い業績をあげる所存です。

新工場

安全キャビネット生産状況

台湾：富泰空調科技股份有限公司(略称：ATS)

2022年4月1日にYingshuan Liu (劉盈萱)副社長が入社されましたので、以下にご紹介いたします。

皆様、こんにちは。

私は、オーストラリアのニューカッスル大学でマーケティングとビジネス戦略、管理について学び、国際ビジネスの修士号を取得しました。その後2007年に台湾に戻り、大手化学メーカーの多国籍企業に入社しました。15年務め、行政管理、新規事業開発、マーケティング、販売、サプライチェーン、マーケティングコミュニケーション等、さまざまな役割を経験しました。

ATSでの副社長としての私の役割は、クリーンルーム機器事業を成長させ、各部門の共通業務を一部門に集約して効率化を図るためのチームを主導し、企業のCSR/ESGプログラムを推進することです。

私はメンバーとの緊密な連携とコミュニケーションにより、目標を達成するための強いチーム作りを心がけています。ATSは高品質で信頼性のあるサービスを提供しています。私たちはお客様に選ばれたパートナーであり、お客様第一の視点で、革新性、持続可能性を追求しwin / winの考え方で、両者に利益をもたらす仕事を行っていきます。

様々な国の皆様とお会いする事を楽しみにしております。

皆様の安全と健康を心よりお祈りしております。

― 管理本部情報 ―

映画鑑賞「ドライブ・マイ・カー」

営業１部　山口　雄矢

自分の後悔、嫉妬、反省、様々な感情と向き合って生きていくのは辛く、難しい。しかし、それを乗り越えなければ、心のどこかにしこりとなって、人生がままならなくなってしまう。

人は過去を背負い、悲しさや虚しさを抱えながらわずかに見える希望に向かって進む。本映画は終わりのない曲がりくねった道を毎日長距離ドライブするように、場面場面に人生を重ね合わせている。今までたくさんの道をドライブしてきた車を他人が運転する事で、自分だけではなく、他人も自分と同じように色々な道をドライブしていることを知った。それは他人を通して自分を知り、自分だけの世界から一歩踏み出し、他の人との共存していく。ただドライブすることだけでなくではなく、どんな道をどの様にドライブしてきたかが大事なのであろう。

ドライブ・マイ・カーの原作と映画の中で演じられるチェーホフの「ワーニャ叔父さん」の戯曲も読んだ上で鑑賞した。本映画では、チェーホフの戯曲に比べて、自分の悲劇にばかり捕らわれず、前に進もうという主人公の強さ感じた。舞台俳優で演出家の主人公家福は、突然愛する妻を亡くす。生前あれだけ愛し、生活を共にした人が実は自分に対して心の全てを開いていなかったのではないか。深い悲しみや喪失感を深く抱えながら、広島への長旅に出る。そこで出会ったドライバーのみさきは寡黙で、主人公に饒舌に語りかける様な事はしない。ただ淡々と運転をするだけだが、そこには主人公が少しずつ「生」に対して希望を取り戻していく姿を表現しているように感じた。

喪失や絶望感を埋め合わせるのは他人ではできない。自分自身が自分と心を向き合わせるしかない。寂しさや悲しみに押しつぶされそうになった時、その感情を埋め合わせてくれるのは必ずしも饒舌な言葉とは限らない。人生というものは思い通りにいかない。それでも「希望」を見つけてどうにかして生きていく。重要なのは自分自身の心の持ちようである。

これまでの私は、まわりの人にどうして欲しいとか、世間から客観的にどう思われたいかばかりを考えて生きてきた。これからは現実と向き合い希望を見つけていく生き方をしていきたい。

【ドライブ・マイ・カー作品情報】

監督・脚本：濱口竜介
原作：村上春樹
主演：西島秀俊、三浦透子
主題：最愛の妻を失った男の行き場のない喪失感を抱えながらも希望の一歩を踏み出す主人公の心の機微を描いたヒューマンドラマ。
受賞：第94回アカデミー賞　国際長編映画賞

ウクライナ難民への寄付金

総務部

当社ではウクライナ避難民への人道支援のための寄付金を募りました。

その結果、社員および取締役より142,400円の寄付金が集まりました。これに会社よりの寄付金500,000円を併せて、国連UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）協会に３月17日付にて寄付いたしました。

寄付金は、主に住む家を追われた人々の緊急援助、仮設住宅支援、女性や子供など弱い立場の人々の保護等に活用されるとの事です。

今回の寄付につきまして、ご協力いただきました皆様へ改めてお礼申し上げます。そして、一日も早い紛争の終結を祈念しております。

感謝状

日本エアーテック株式会社 様

次世代へのメッセージ【第3回】

編集部

【メッセージ】

「人生、経済、時代の流れに波動がある。運が良い、悪いは半々である。」

【エピソード】

当社の市場は、半導体・液晶を中心とする電子分野と、病院・製薬を中心とするバイオロジカル分野の２本柱である。1980年代ではシリコンサイクル、2000年代にはいり、感染症の発生が業績に影響を与えた。とりわけ、2008年のリーマンショックの影響は多大であった。翌年の通期決算は、初の赤字となってしまった。しかし、ショック発生当日の数か月前より、いくつかのシナリオを予測し、1次から3次までの対策案を策定していた。

【教訓】

現在、ウクライナとロシアの戦争とコロナウイルスによるパンデミックが同時に発生している。世界は不安定である。だからこそ、経営トップの予測とリスク回避の策定が重要である。

波動を注視し、転換点を見極める。未来の波動を予測し、先手を打つべきである。

2022 年入社式【新卒：16 名　中途：17 名】

加須工場外壁改修

編集後記

編集部

コロナウイルスは、これまでの生き方を大きく変えました。世界を移動し、多くの方々と直接顔を突き合わせることを是とし行動してまいりましたが、現在の生活は真逆です。毎日マスクを着用し、電車の窓は10センチメートル程開放され、車内での会話も少なくなりました。会社でも、会議はオンラインであり、飲み会、行事もほとんどありません。

21世紀に入り、世界は加速度的に進展しております。地球温暖化、人口爆発、格差及びエネルギー等、様々な問題が噴出しております。今回のコロナウイルスによるパンデミックは、全人類が力を合わせて生存していく手段を模索する良い機会を与えてくれているのかもしれません。

エアーテックニュース 第96号

発 行 日：2022年6月30日

編　　集：管理本部
発 行 者：平沢真也
発 行 所：日本エアーテック株式会社
東京都台東区入谷1-14-9
TEL 03-3872-6611（代表）